

文武両道をめざす

はなび

2年 池村 華美(津市立西郊中学校)

私は小学3年生の時、水球の体験教室をきっかけに水球をはじめました。全国JOCジュニアオリンピックカップ、全日本ユース(U15)水球競技選手権大会、全日本ジュニア(U17)水球競技選手権大会などの全国大会へ出場し、そして中学3年生で水球三重県代表に選抜され、最年少で茨城国体に出場することができました。

当時、国体チームの監督だった太田育臣先生が津高に赴任され、水泳部の顧問の先生が三重水球界のレジェンド指導者だった川井田先生だということを知り、「絶対に津高に入学してお二人からご指導をうけ、文武両道を実現する」と決意しました。

水球をしていなかったら津高に入学することはなかったと考えると感慨深いです。

高校生活では休日の水球練習に加え、平日は水泳部で活動し競泳の東海高等学校総合体育大会に出場することもできました。

2年生で前期生徒会長に就任し、勉強はもちろん水球と水泳部の活動、プラス生徒会の活動と多忙を極め、肉体的にも精神的にも本当に苦しい時期もありました。

それでも頑張れたのは、友達や先生方の温かい励ましに加え、川井田先生に“多兎を追うものは多兎を得る”という言葉を受けたからです。

“二兎を追うものは一兎を得ず”ということわざがあるけど、“津高ことわざ”と言って津高ではその逆が実現できる」と先生はおっしゃってくれました。

その言葉を信じて毎日その時々々に全力を尽くすようにしました。

出場予定だった鹿児島国体・三重とこわか国体をはじめ、ほとんどの大会がコロナ禍で中止になり、目標としていた水球ユース日本代表になる機会も奪われ、やるせないし悔しい気持ちでいっぱいでした。

そのような中、2021年8月に開催された西日本女子水球競技大会では優勝し、結果を残す事が出来て嬉しかったです。久しぶりの試合でしたが緊張よりワクワクした気持ちの方が大きくて、楽しんで水球をすることができました。

そしていつも支えてくれる、友達・水泳部の仲間・先生方や家族に感謝しながらこれからも文武両道をめざしていきます。

